

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	たけちゃんち			
○保護者評価実施期間	令和8年1月19日		～	令和8年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26名	(回答者数)	22名
○従業者評価実施期間	令和7年12月27日		～	令和8年1月7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月11日			

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	○子供たちのニーズに合わせた支援を行うことが出来ている。	○たけちゃんちには食物アレルギー、てんかん発作、医療的ケアが必要な子が在籍している。そのため、どの食材は食べられるかなどの洗い出しをしたり発作の対応(マニュアル)について家庭と綿密に相談が出来ている。 ○医療的ケアに関しては、外部の機関を借りながらニーズに合わせた支援が行えている。	○子供たちの成長によって対応が変わっていく。マニュアルなどを都度、改正していくことで更なる支援の向上に繋がる。
2	○会議や研修の機会を定期的に設けている。	○たけちゃんち会議を月1～2回(月初/月末)、デイ研修を月1回、法人研修を年1回行うことが出来ている。 ○感染症委員会や虐待防止委員会会議内で設定して、研修・訓練することが出来ている。	○研修・会議は定期的に参加が出来るので、安全計画に基づく訓練をさらに充実させていく。
3	○在籍の子供たちの定着率が高い。	○様々な放課後等デイサービスがある中で、ご縁がありたけちゃんちを利用し卒業まで長く利用する子が多い。 ○毎回、様々な活動を提供していきながら「たのしい」「できた!」につながる活動がなされている。	○子供たちの意見を取り入れながら、楽しい活動設定を行う。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	○放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会が少ない。	○事業所内での交流(放デイ部門・成人部門・ショート部門)はある程度持っているが、事業所外の交流が持ていなかったのが現状。 ○どういった交流の仕方をすべきかのイメージが持ていなかった。	○同じ法人内のデイ部門で取り組んでいることを聞き出し、実践が出来そうなところから行ってみる。また、多賀城市の放デイ事業所の交流会があるので、その際、議題に挙げながら取り組んでいることを聞いてみることで、どういったことから始められるか検討したい。
2	○HPやSNS等の活用が未定着。	○前年度よりはHPの更新は行ったが、定着までは至らずであった。 ○LINEの活用は、適宜行い、空き状況のお知らせや特記事項についての共有を図ることは出来た。	○次年度は当番制にしなが、月1回は必ず更新を目標にたけちゃんちの姿を見てほしい。
3	○延長加算をしていない。	○たけちゃんちの営業時間は9:00～17:00でその前後の受け入れは対応外になっている。 ○たけちゃんちを利用している家庭の大半は、就労している家庭が多く、9:00前の受け入れ/18:00以降の送迎はお断りしている。 ○所属しているスタッフが多賀城市外に居住している。	○職員体制については、法人として整えていく必要がある。 ○長い年月が必要だと思うが、就労している家庭も多いので検討する必要がある。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		たけちゃんち		公表日 令和8年3月11日				利用児童数 26家庭		回収数 22家庭	
		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応			
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21			1					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	17			5					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	21	1							
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	21			1					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21			1	・制作物を持って帰ってきたり目に見える形での十分な支援を受けられている。	・ありがとうございます。今後も制作などは持ち帰りをしながら、その中でお子様の成長を感じてもらえたら幸いです。			
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21			1					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	22								
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	22								
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20				・2名未記載				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20	1		1					
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	6	2	5	・「いいえ」の家庭：希望してないので問題なし。	・たけちゃんちでは、放課後児童クラブや児童館との交流がなかなか機会として行えていないのが現状であり、課題です。			
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	22				・定期的に行われているので安心。	・今後もご納得いただけるよう、丁寧な説明を心がけていきます。 ・今後、おやつ代の値上がり予想されます(物価高)。お便りに加え口頭でも説明していきます。			
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	22								
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	19	1		2					
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	22								
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	22								
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19			3					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	19	2		1					
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21			1					

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20	2			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	20			2	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20	1		1	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20			2	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16	1		5	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	21			1	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21			1	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	22				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	20	1		1	・「どちらともいえない」の方：その時々で違うため。 ・活動は日によって異なり、お子様の利用日によっては不得手な領域活動と当たる場合があります。どうしても、楽しみながら参加出来るのかを今後もスタッフ間で検討していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	22				・「はい」の方：いつもありがとうございます ・いつもご利用いただき、ありがとうございます。今後も楽しみながらも「たのしい！」「できた！」につながるように支援していきたいと思っておりますので、宜しくお願いします。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		たけちゃんち				公表日	令和8年 3月11日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		・利用児が多い時は小部屋かトレーラーハウスで分けている。	・トレーラーハウスで過ごすことを好んでいる子供たちもいるので、ニーズに合わせて対応していく。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	2	・スタッフが多い場合は他事業所へヘルプを出している。 ・職員が少し少ない。 ・人が多いと活動の幅も広がると思う。	・たけちゃんちのみならず、他の事業所でも課題として浮き彫りになっている。人材不足に関しては、法人全体の課題として捉え、上の人たちに働きかけていく。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		・毎朝夕にハイター水でしっかり清掃している。 ・消毒は行き/帰りにしている。 ・冬の季節は次亜塩素酸ナトリウムで拭く等している。	・特に12月はインフルエンザでキャンセルが多かった。冬場(12月から3月)は毎日、次亜塩素酸ナトリウム液で床拭きや子供たちが触る場所の消毒に努めた。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・保護者アンケートの意見は貴重である。	・ご利用されている保護者の方のご理解とご協力があって、たけちゃんちが成り立っていると強く感じている。感謝の思いでいっぱいである(今後も宜しくお願いします)。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・月に1回以上は会議する機会を設けて、共有と意見交換を行っている。	・職員間で朝の打ち合わせを行っている。その際、子供たちの状況を共有し同じ対応・支援が出来るよう心がけている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		・年1回:法人研修、月1回:デイ研修で資質の向上を図っている。	・たけちゃんち会議は多い時には月に2回(月初/月末)行っているため、そのペースは次年度も継続していきたい。 ・次年度もデイ研修を行う予定。自己研鑽していく。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		・原案検討会議で利用児の意見を求め、支援計画を作成している。	・児童発達管理責任者やサービス管理責任者のみが作成するのではなくスタッフ全体で子供たちのより良い支援をするために全職員から意見をもらった上で作成している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5				

適切な支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		・活動案はスタッフの意見を反映させて作成している。	・次年度も5領域も含め、全スタッフの意見を反映させながら活動案を考えていく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		・打ち合わせは毎日行って、考えられる子供たちの行動や姿についてどう対応するかまでスタッフと共有し、すぐに動けるようにしている。	・日々、子供たちの姿は異なるので、毎朝の打ち合わせでスタッフと共有を図りながらチーム支援を目標に療育に当たっている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	・ヒヤリハットの際はその日に話している。 ・当日のうちに反省できない時は翌日のミーティングで話すこともある。	・特に重要なことは、その日のうちにスタッフと共有を図るようにしている。 ・その日が休みだったスタッフに申し送りをしていたつもりでできていなかったことが反省点。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		・9月、2月に行っている。	・年2回程度、保護者と話し合う機会を設けた。 ・中々、送迎の際には話せない事項もあるので次年度も頻度は変えないでいくつもりである。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	5			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		・自分で選びづらい子には二択で提示する等している。	・左記の方法以外にも、子供たちを観察していきながら自己決定が出来る方法や支援を考えていく。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		・可能な限り参加している。	・送迎外の学校に通っている子供もおり、直接、学校の先生から日々の様子を聞くことが出来ないケースもあるので、出来る限り参加していく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		・医療的ケアの対応については、看護ステーションの方にお願している。	・今後も継続していく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	2	・個人として把握できていないが色々していると思う。	・移行会議に参加し、事前に情報共有やどのような支援が有効かシュミレーションしていければと思う。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	3	・近隣の同法人他事業所の子どもと活動する機会があった。	・放課後児童クラブや児童館との交流が出来ていないのが現状。 ・同じ法人のデイ部門同士でも聞き取りをしていながら、実践が出来そうな事項から取り組んでいく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	1		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1	・外部で行なわれているチラシ等はすぐに配布するようにして情報提供出来ている。	・たけちゃん主催で家族が参加できる研修の企画は出来ていなかった。 ・同じ法人のデイ部門同士でも聞き取りをしていながら、実践が出来そうな事項から取り組んでいく。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		・契約時に詳しく話をしよう心掛けている。	・都度、ご家庭に丁寧に説明が行えるように心がけてきた。 ・管理者以外のスタッフも家庭から問い合わせがあった際に説明が出来るように周知していく必要がある。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>参加率は別として保護者会は開催しご家族に通知している。</li> <li>きょうだい同士の交流の場は設定したことがないので、今後検討する必要性あり。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎年、7月11日に保護者会を行なっている。ただし、最近では就労している家庭が多くなり参加率は低い。参加率の向上を検討していく必要がある。</li> <li>きょうだい同士で交流する企画は今年度は行うことが出来なかった。</li> </ul>
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月のお便りは出しているが、HPの更新は定期的に行えなかったため反省。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月のお便りを楽しみにしている家庭・子供たちが多くいるので今後も継続していく。</li> <li>HPは更新することが出来たが、毎月の更新には至らずであった。当番制で更新していきたい。</li> </ul>
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>選択肢で選べるようなカードを提示したり、感情を表すカードを提示することで意思疎通を図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>左記のように言葉以外の非言語ツールも活用しながら意思疎通を図るよう努めた。</li> <li>就労している家庭が多いので、必要に応じて電子機器(電話・ライン)を通して意思疎通を図った。</li> </ul>
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般の地域の人にはお祭りの呼びかけはしていないが卒業生などには声を掛けていた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>数年前ではあるが、夏祭りを行う際、近隣住民にも周知の意味でチラシを配布したことがあったが、あまり効果はなく、それ以降は行っていなかった。</li> </ul>
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者会資料に自然災害等の資料も併せて配布している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>左記に加え、訓練を実施した回数も数える程度であった。</li> <li>多賀城市は被災地域でもあるので(3.11)、何があっても対応できるように訓練は定期的に行いたい。</li> </ul>
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動の一環として行うこともあった。(地震)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>左記に加え、訓練を実施した回数も数える程度であった。</li> <li>多賀城市は被災地域でもあるので(3.11)、何があっても対応できるように訓練は定期的に行いたい。</li> </ul>
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>てんかんを誘発するもの、こと等事前にスタッフと共有を図っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子供によって、てんかんのなり方や誘発されるものが違うので、事前に家庭と連携を図っている。</li> </ul>
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>食物アレルギー対応として、保護者に食材を確認することもあった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>食物アレルギーもしくは疑いがある子が3名程度いるので、適宜、提供するおやつや食材を家庭と確認している。</li> </ul>
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所内、もしくは放デイエリアで研修の機会を設けた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年2回以上はたけちゃん内もしくは同じ法人のデイ部門で研修を行うことが出来た。</li> <li>次年度も行う予定。</li> </ul>
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>契約時や支援計画に記載している。ただ、身体拘束がないように工夫して関わることが一番望ましい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身体拘束についての文言は個別支援計画書に記載している。</li> </ul>	